

地域風景資産の名称：

畑の間の土の道

住所： 世田谷区喜多見四丁目（下図の道と両側の畑の一部）

位置図：

喜多見五丁目竹山市民緑地の  
竹林と垣根

喜多見大橋から見た野川上流の眺め

畑の間の土の道



稲荷塚古墳緑地

凡例

- 該当地域風景資産
- せたがや百景
- 第1回地域風景資産
- 第2回地域風景資産
- 第3回地域風景資産

喜多見氷川神社と禰善寺跡

喜多見・歴史の道～慶元寺・  
氷川神社界わい

喜多見慶元寺界わい

地域風景資産の特徴：

慶元寺に接する畑の間を、氷川神社方面から稲荷塚古墳方面へと抜ける、土の小道である。道沿いには四季折々の花が咲き、野鳥に出会える、ステキでホッと場所である。喜多見の原風景ともいえる風景である。



地域風景資産の背景等：

喜多見地域のシンボルの一つである「慶元寺」に接する畑の間を抜ける土の小道である。農業を支えるためのあぜ道としての機能だけでなく、地元住民には鳥などの生き物も多くいる隠れた名所として親しまれている。所有者等との継続的な関係づくりをするとともに、新旧住民がともに喜多見の原風景を再発見できるような活動を通して、地域の共有・共感が増々広がっていくことが期待される。

備考：

畑は個人所有のため立ち入ることはできません。